

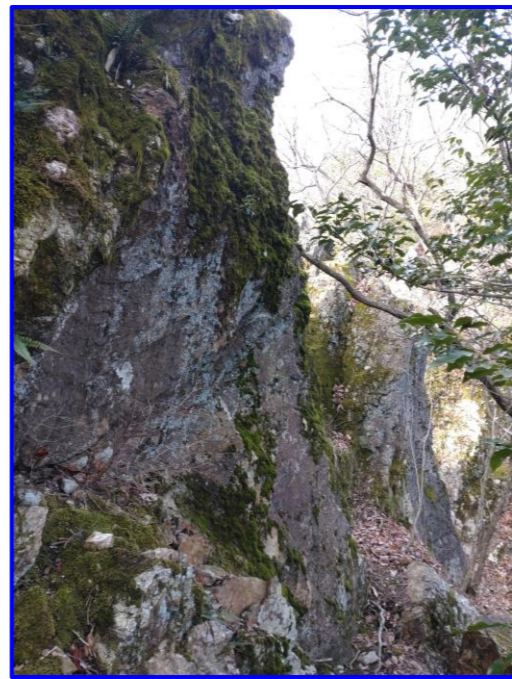






ピース

夫婦岩



不動大岩



断層割岩



のべぶり岩



多賀坂峠の2つの「峠の井戸」



コープ岩から能郷白山方面の眺め



コープ岩の上



お立ち岩(山伏)



コープ岩下の鏡岩



極楽茶屋 営業時間：09:00～15:00



はさま農産物直売所 営業時間：09:00～15:00

関市以外の主な駐車場のマップコード  
(各務原市)  
 各務野自然遺産の森駐車場：70 337 032\*20  
 天狗谷遺跡駐車場：70 344 545\*64  
 寒洞池駐車場：70 305 821\*40  
 各務原公園第二駐車場：70 307 614\*40  
 三ツ池公園駐車場：70 361 532\*47  
 (坂祝町)  
 猿啄城展望台登山口(第1駐車場)：70 311 696\*78  
 (カーナビが上を走るR21と誤動作しますので登山口に变更)  
 猿啄城展望台第2駐車場：70 311 647\*27



正溪寺の花桃と八重紅枝垂れ桜



こんぴら道のお地藏さん

関山岳会  
**会員募集中**

関南アルプス情報、「関市の山」のマップ情報、関市民トレッキング教室、関山岳会の活動報告などを関山岳会ホームページにて発信します。

現在、関山岳会では、会員を募集しております。LINE オープンチャットからも入会受付します。

【新しく付けられた山名の由来】

- 大平山の由来: 岩坂峠に昔、大平山薬師寺という寺があり、この山および岩場を修行の場としていて、その後、石投げ塚へ移転。
- 多賀坂山の由来: 多賀坂峠から、すぐ上の山として多賀坂山という名前が付けられ、直下に銀・マンガン鉱の採掘跡が残っています。
- 小太山の由来: 昔から、関市側のこの地域を「小太」と言っていた所から付けられました。
- 大日向山の由来: 大岩不動明王の修行場で最初に日の出を拝む場所として「おおひなた」でなく「おおひおも」として名が残ります。
- 薬師前山の由来: 昔、薬師寺が岩坂峠から「石投げ塚」に移転した事から南側の山を「薬師山」、上の山を「薬師前山」としました。
- 八方山の由来: 八方不動明王の八方睨みの山として付けられました。(現在は、山頂に中濃テレビ中継局があります。)
- 機子山の由来: 八合目中腹(峠一カキ側)にある機子岩の岩穴で貧しい家の娘が機を織ったという伝説から付けられました。
- 大岩山の由来: 大岩不動明王の上にあり、見晴台として親しまれておりました山を「大岩山」として新しく山名を付けました。

【従来からある山名の由来(推測も含まれます)】

- 向山の由来: 昔、城(砦)があったことから、城ヶ峠と呼ばれていましたが須衛集落の裏山(稲田山)の奥にある山として向山になったと思われます。
- 須衛山の由来: 四等三角点名から採用。(元の各務原市須衛町は、古墳時代から鎌倉時代、須恵器生産が盛んで、窯跡(天狗谷遺跡)の「須恵」から付けられた)
- 岩坂山の由来: 岩坂峠から名前が付けられました。(鉄塔のベンチ付近は標高241mで、山頂は西への登山道沿いです。)
- 金山の由来: 昔は雨乞山と呼ばれましたが金気水(かなけみず)の湧水が由来の三等三角点「金山」から付けられました。
- 追間山の由来: 追間不動尊の山号(寺名の前に付ける冠)であり、かつては追間城(砦)がありました。
- 金毘羅山の由来: 追間不動尊の本地物、不動明王の化身とされ、水運(木曾川)の神様として金毘羅大権現を祀ったことにあります。
- 明王山の由来: 追間不動尊の修験の山として本地仏である不動明王から付けられた山です。

信長の時代に「のべぶり岩」からの情報を中継していた追間の山域は、現在でも明王山の国土交通省「追間中継所」、八方山の「中濃テレビ中継局」や岐阜県防災無線「追間中継所」、八方坂峠の「関市地域防災無線 追間中継局」として活用されています。  
 追間不動尊: 平安時代の弘仁14年(823)に全国各地を遍路の円珍が夢で神仏のお告げにより追間山の山腹に開山し、その後、信仰が薄れましたが延喜12年(912)に再興し、改めて本尊を迎え、延宝8年(1680年)9月には、伊勢から天照大神の分神を勧請して下追間区に神明神社を建立し、その奥之院として「奥之院追間岩谷不動尊」に改称。 明治初頭の神仏分離令により仏教信仰となりましたが、江戸時代までの神仏習合が色濃く継承され、鳥居や祠、奥之院では鏡が祀られているなど神社の要素と寺院の要素を併せ持っています。

